

募集の観点から、実技検査1では、まとまりのある英文を読み、文章の流れを適切に理解した上で話の流れをまとめる問い、グラフとそれに関する英文を読み、情報分析力、思考力、日本語及び英語の表現力を測る問いの2題を出題した。実技検査2では、音読により英語の発音やイントネーションの適切さを測り、英問英答では英語による発信力を測る問いを出題した。実技検査1は全受検生に対し同時実施、実技検査2は個別実施とし、受検生が落ち着いて十分に力を発揮できるように配慮した。なお、実技検査2は入室から退室まですべて英語で指示をした。

実技検査1（筆記）

問1

英語で書かれた文章を正しく理解し、内容を把握する力を測る目的で出題した。話の流れや時系列を正しく理解し、話の要約ができるかどうか、また英文の流れに沿って基本的な単語を適切な形に直せるかどうかを評価の観点とした。

問2

身近な問題に関する英文と示されたグラフを適切に結びつけ、日本語で簡潔に説明する力と、まとまった英語で自分の考えを表現できる力を測る目的で出題した。英文の内容とグラフにある情報を結び付け、日本語で簡潔に表現できているかどうか、本文中の問いに対する自分の意見が適切な英語で書けているかどうかを評価の観点とした。

実技検査2（口頭）

音読

まとまりのある英文を、内容を理解しながら適切に音読できる力を測る目的で出題した。個々の単語の発音及びアクセント、ポーズの入れ方、イントネーションの適切さを評価の観点とした。

英問英答

- 1) 質問を的確に聞き取り、適切に応答する力を測る目的で出題した。必要な情報を英文から読み取り、答えとして適切な形に変えた上で応答ができるかを評価の観点とした。
- 2) 身近な事柄について、自分が感じていることを英語で発信する力を測る目的で出題した。自分の気持ちや考えを適切な英語で説明できるか、また積極的に英語で説明しようとする態度があるかを評価の観点とした。